

土木技術者女性の会 東日本支部

土木系女子学生のためのオンラインキャリアセミナー2023 開催報告

主催：（一社）土木技術者女性の会 東日本支部

日時：2023年11月19日（日） 13:00～16:00

開催場所：Zoom

参加人数：17名（正会員13名*、その他社会人1名、その他学生3名） *東日本支部12、中部支部1

CPD申請者（土木学会2.0単位）：5名

1. はじめに

東日本支部での恒例イベントとなっているキャリアセミナーは、幅広い層の女性技術者が、学生の皆さんとワークライフを語るイベントです。

オンラインでの開催は、コロナ禍の情勢を加味して2021年から始まりましたが、遠方や育児中の方も気軽に参加できるという利点があり、今年で3度目となりました。過去のアンケートで「グループディスカッションでもっと皆さんと話したい!」というお声もあったことから、例年よりもグループディスカッションの時間を長くとり、準備を進めました。

講師の方々のご講演から、グループディスカッションまで、今回も充実したイベントとなりました。以下に概要を報告します。

報告：東日本支部 奥田 風花

2. 当日スケジュール

- 12:50 Zoomへの接続開始
- 13:00 オリエンテーション 司会：瀬尾弘美
- 13:05 ちょっと先輩の話①末松菜々子さん【パシフィックコンサルタンツ株式会社】
- 13:25 ちょっと先輩の話②中野沙弥子さん【東日本旅客鉄道株式会社】
- 13:45 基調講演 水野香織講師
【株式会社フジタ 名古屋支店 七五三高架作業所 監理技術者、当会運営委員(法務担当)】
「働き続けるために」
- 14:30 グループディスカッション（4人/G）※Zoomでブレイクアウトルームに移動
- 15:50 クロージング 支部長挨拶：中田宏美 写真撮影 ※全体で進行
- 16:00 終了

3. 講演概要

ちょっと先輩の話①末松菜々子さん【パシフィックコンサルタンツ株式会社】

情報工学を学んだ後、土木分野に進んだ理由、そして現在のお仕事について詳しくお話していただきました。情報分野から土木に携わる仕事内容は多岐にわたり、情報部隊がどのような関わり方をしているのかといったことも知ることができました。

普段土木に携わっている方々でも、新しく知る内容も多かったのではないのでしょうか。また公共データを活用して地域課題解決を目指す他団体でも、ご自身の強みを活かして活躍されている様子を感じられました。そのご経歴から、今後多方面から土木業界を見ることができるのでは、といった期待を込めた感想も寄せられました。

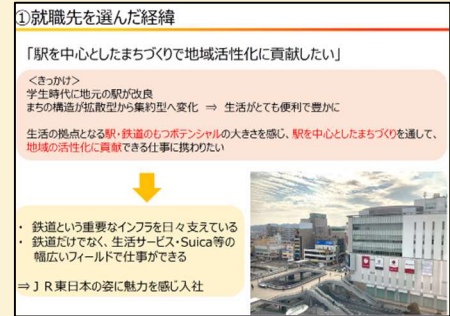


ちょっと先輩の話②中野沙弥子さん【東日本旅客鉄道株式会社】

ご自身の経験がきっかけで、「駅を中心としたまちづくりで地域活性化に貢献したい」という志のもと入職され、現在やりがいを持って働かれていることが伝わるご講演でした。

毎日のように利用する鉄道や駅ですが、普段は聞くことのできない構内での工事についてお聞きすることができました。設計段階でも、まず現地足を運び現場を知るようになっている(手や足を動かす!)。という言葉が印象的でした。

今後についても自身のさらなる成長やお仕事での挑戦を語られており、その熱意や前向きな姿勢に刺激を受けられた方も多かったと思います。



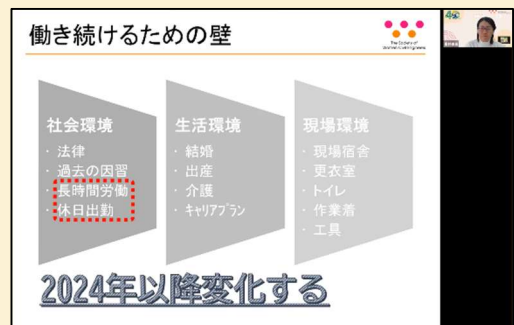
基調講演 水野香織講師 【株式会社フジタ 名古屋支店 七五三高架作業所 監理技術者、当会運営委員(法務担当)】 「働き続けるために」

土木の道を選んだきっかけから入職後～現在までのキャリアや当時の悩み、実際どのように解決されたか、振り返る形でご紹介いただきました。今までの、仕事に対するモチベーショングラフは、土木で働いていく上で女性がぶつかるリアルな壁や現場での喜びが感じられ、共感される方も非常に多かったことと思います。坑内労働のお話では、法改正までの女性技術者の働きかけや思いを知ることができ、当時を知らない世代や学生の方にも伝わったのではないのでしょうか。改めて勉強になったという感想も聞かれました。ご担当されたトンネル工事での開通の瞬間を収めた動画は、実際に現場で従事された方だからこそ見られる貴重な映像で、とても感動しました。

ご自身の経験から得られた、働き続けるためのメッセージは、参加された皆さんを勇気づける御守りのような言葉になったと思います。

参加者の皆さんからいただいた感想(抜粋)

- ・坑内労働については改めて勉強になりました。自分の初めてのインターンシップが2008年のシールドトンネルだったため、解禁して間もなかったことに驚きました。(社会人11~20年目)
- ・ゼネコンで働く身として共感できることが多々ありました。女性技術者の先輩方のご苦労は計り知れないと思っています。(社会人6~10年目)
- ・同じ時代を戦い抜いた同志のように感じた。私が現場から退いた歳に、逆に現場へ復帰した話を聞き、まだ自分も現場に復帰できるのかも?と感じた。(社会人21年目以上)
- ・働いていく中での葛藤やそれでも興味を持ち続けてモチベーションを保つ大切さ、人や土地や時のつながりを大事にすることがすごく印象に残りました。



講演中の様子

【質疑応答を要約】

Q: 男性が多い職場の中で苦労したこと・女性技術者としての大変さや持っておいた方が良い覚悟はありますか?

水野講師: 男性が多いと女性の設備面が弱いという点はあるが、現在女性技術者も増えてきて改善していることも多い。持っておいた方が良い覚悟として、男性の多い環境に慣れている方も多いと思うが、社会に出ると逆に「女性らしさ」を求められることもあるため、そういったことがあると知っておいた方が良いのではと感じる。

また、身体のことを相談できる相手を見つける。言いたくないこともあると思うが、言うべきことは言うことも大事。

Q: 監理技術者になった時、心したことや良かった点・大変だった点はあったか。

水野講師: 監理技術者だからということ強く意識しているわけではないが、所長を助けて他の人たちをまとめ、少しでも円滑に工事が進むようにと考えるようにしている。また責任ある立場として、人に完全に任せるのではなく、あくまでも自分が責任を持ち任せる、ということ意識して働いている。

Q: 今後、女性所長は目指しておられますか? 私自身は育休中で、復帰後の働き方を相談している最中です。現在は、現場で実際に工事を進めていく方が楽しいと感じており、まだ現場幹部の魅力が分かっておりません。

水野講師: 所長を目指すというよりは、今まで内勤・現場両方を経験したということを活かし、その橋渡しという形でサポートをしたいと考えている。

日々色々なことが変わっていく今、内から現場への落とし込みができればと考えている。

また弊社の事例として、子育てをしながら復帰して、現役で現場所長をしている女性もいる。

是非一度やってみて、自分が楽しいと感じるかどうかを確認してもらえたら。

4. グループディスカッション概要

学生さん・社会人の年代、業種がばらばらになるように4つのグループ(4名)を作り、各班に1名のファシリテータを設定してグループディスカッションを行いました。初めに自己紹介、その後テーマに沿って話し合いました。テーマは、申し込み時に回答いただいた『当日、聞いてみたいこと』を参考にした上で、前半の各講演の感想から個人の悩み相談まで、各班多岐にわたって話が進んだようです。

学生さんからは、インターンシップや会社説明会では聞きにくいことを話せて良かったといった感想も寄せられました。そしてベテランの社会人勢からは、学生や若手社員とのコミュニケーションについて悩まれている方が多く、お互いにとって、こうした交流の機会は重要であると感じました。

ゆったりと話せるように例年よりも時間を増やした当コーナーでしたが、それでも各班あつという間に過ぎてしまうほど活発なディスカッションとなりました。アンケートでは、グループをシャッフルしてさらに沢山のひととお話したいという感想もいただきましたので、今後も実施方法を検討していけばより良い交流の場にしていけるのではないかと感じました。

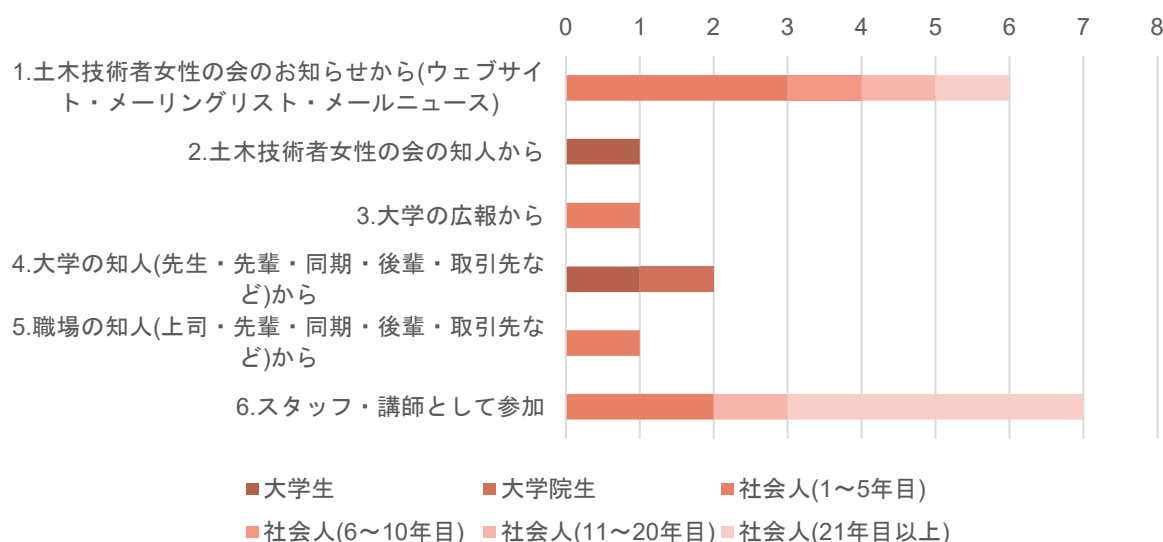


参加者の様子

5. 参加者アンケート結果

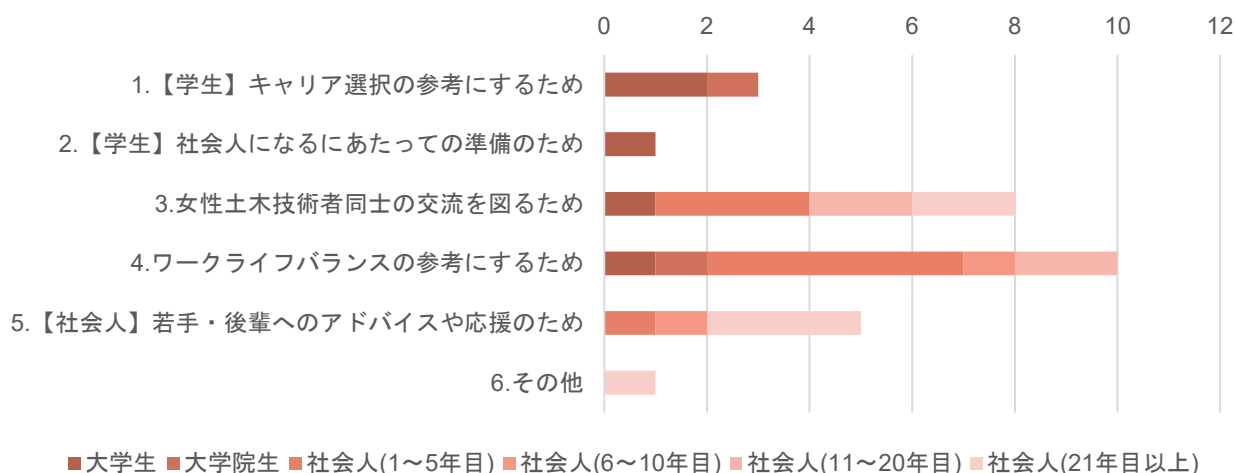
セミナー後 WEB によるアンケートを行いました。以下結果とまとめを掲載いたします。

Q 今回のイベントを知った経緯について教えてください。(複数回答可)



■ 当会からのお知らせを見てくださった方が多いですが、学生の方からは、大学の先生や卒業生の会員から紹介いただいたという声がありました。

Q 今回のイベントに参加された理由を教えてください。（複数回答可）

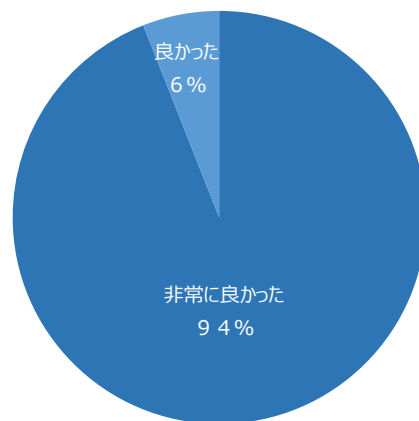


■学生さん～特に社会人 10 年目の方々は、セミナーでの交流により、ワークライフバランスの参考にしたいという方が多かったです。また、21 年目以上の方々は、学生さんや若手社員とのコミュニケーションを気にされているお声も多く寄せられていました。

Q 今回のイベント全体の感想を教えてください。

- ◇ 少人数でのグループワークで、就職先である建設コンサルタントで働く方々の話や、女性ならではの出産、妊娠、子育ての経験談、入社したころ大変だったこと等、貴重なお話をたくさん聞けた。（大学生）
- ◇ 社会の女性土木技術者に対する評価や、自分がその立場になった時の想像をより具体的に考えるきっかけとなった。（大学生）
- ◇ 私の会社が男性技術者しかおらず、女性のコミュニティーがなかったため、こんなにも前向きに仕事を楽しんでいる土木業界の女性がたくさんいることに勇気をもらえました。（社会人 1～5 年目）
- ◇ 様々な土木分野の方がいらっやって、2～5 年目の先輩の話から 26 年目のベテランの方のお話までじっくり聞くことができ非常に有意義なセミナーでした。（社会人 1～5 年目）
- ◇ 講師の皆さんの講話が非常に勉強になるとともに励みになりました。（社会人 11～20 年目）
- ◇ 他の世代の方の意見を聞く機会となり、よかった。若手の方が何を悩んでいるか等がわかり、参考となった。（社会人 11～20 年目）
- ◇ グループディスカッションの時間がしっかりあり、若い方の意見をダイレクトに聞けたこと。（社会人 21 年目以上）
- ◇ 普段は聞くことのできないインフラ関係の他業界の仕事内容が聞ける機会は、ほんとうに貴重だと思います。（社会人 21 年目以上）
- ◇ 土木を選んで良かったと思えた。（社会人 21 年目以上）
- ◇ 大変貴重なお話を聞けた講演が良かった。（社会人 21 年目以上）

■講師の皆さんの貴重なお話が聞けたこと、若手世代～ベテラン世代で交流ができたことで、お互いの思いや悩みが理解でき、充実した時間になったと感じます。



Q グループディスカッションで話して良かったテーマ、または話してみたかったテーマがあれば教えてください。

- ◇ 実際の働き方や、女性技術者として、大変だと感じたこと、やりがいなどを知ることができてよかった。(大学生)
- ◇ それぞれの会社のコーチャー制度や働き方等を聞いて、どの企業でも柔軟な働き方ができるような体制が整ってきていることを知り、これから働くうえでそのような制度をうまく活用していくことが大切であることを学べた。(大学生)
- ◇ 話してみたかったテーマとして、建設コンサルタントは技術士の資格取得が必須と聞けが、仕事が忙しい中で、どのように資格取得の勉強時間を確保しているか、人間関係で苦労したことがあった場合にどのように対処したかを伺いたかった。(大学生)
- ◇ インターンや会社説明などでは少し聞きにくい質問などもできたのでとても参考になりました。また、キャリア形成に関わるお話も聞けてイメージが膨らんだので今後もこのようなものがあると学生としてはとてもありがたいと思います。(大学院生)
- ◇ 昭和のコミュニケーションと令和のコミュニケーションに関して、お互いの世代が感じていることを話せたことはとても良かったです。実際に上の年代の方々もどうしていいかわからず戸惑っているというお話を聞いて、もっと若い世代も自己開示をして歩み寄っていく必要があるなと感じました。(社会人 1～5 年目)
- ◇ 私のグループでは育休明けの方がいらっしまったので、共働きでどう仕事をこなしていくのかなどのお話を聞くことができて非常に勉強になりました。私の会社では作業着を一新するため、女性目線で作業着にあったらいい機能を相談させていただいたので会社で共有しようと思います。(社会人 1～5 年目)
- ◇ 講演の感想や作業着の悩みを共有したこと。仕事と育児の両立について話したこと。若手の方の参考になっていれば嬉しい。(社会人 6～10 年目)
- ◇ 育児をしながらの現場勤務について(テレワーク、朝礼不参加 等) 大変勉強になった。(社会人 21 年目以上)

■ 作業着等女性ならではの悩みから、今後のキャリア形成という大きな話題まで、活発なディスカッションがあったようです。また、就活中の学生さんから、育休明けの社会人、部下への接し方に悩む役職の方まで、本当に様々な立場の方が交流できたように思います。

Q キャリアセミナーに参加した感想、良かったこと、印象に残ったこと、気付いたことがあれば教えてください。

- ◇ キャリアセミナーで講演いただいた皆さんのお話を聞き、共通していることは土木が好きで、人々の生活を支える仕事に誇りを持っているのだと感じた。自分が土木の仕事を通してどのようなことを実現したいのか、どうして土木の仕事をしたいのかなど、今感じている思いを忘れずに、技術者として成長していきたいと感じた。(大学生)
- ◇ 女性の働き方が変わってきたとはいえ、小さな会社ではまだまだ女性が少なく、何気ない相談もする相手がいないことが多いです。だからこそ、もっとこの会の認知が広がることで、同じように土木業界で頑張りたいけど頑張りがわからない方のコミュニティーになっていくのではないかと感じました。(社会人 1～5 年目)
- ◇ 遠隔地勤務制度や現場業務の方でもリモートワークが出来たり、フレックスタイム制など働き方もすぐ改善されていっているんだなと思いました。(社会人 1～5 年目)
- ◇ シールドトンネルは建設現場の中でも比較的働きやすい現場という認識がありましたので、いまだに制約があることに驚きました。縁あって、シールド等の設計や施工管理では女性が活躍しているのを見ました。早く制限解除されるべきと思います。(社会人 11～20 年目)
- ◇ ちょっと先輩の一日を発表された方が、ご自分の仕事に関する確固とした考え方を持たれていることに、感動しました。自分自身の若いころと比べ、多種多様な情報を入手しやすくなっている状況を活用し、ご自分の中に消化されているのだと思います。私は、情報におぼれがちなので、見習いたいと思いました。(社会人 21 年目以上)
- ◇ 水野さんが最後にお話しされた「内勤部署を経験しているので、内勤部署と現場の橋渡し役になる」ということに共感し、今後のキャリアを考えさせられる良いきっかけとなった。もっと話したいと思った。(社会人 21 年目以上)

■ 色々な方の働き方を知ることで、リアルタイムで働き方や勤務制度の移り変わりを感じた方も多かったようです。

Q 今後のキャリアセミナーで行ってほしいこと、改善点、ご提案などがあれば教えてください。

- ◇ ブレイクアウトルームを複数回シャッフルする等で、より多くの方とお話できる機会があれば良いと思いました。(社会人 1～5 年目)
- ◇ 今回のようなリモートだと参加しやすいです。(社会人 6～10 年目)
- ◇ もう少し交流の時間を増やせるとよかった。他のグループの方とも話してみたい方等がいらっしまったので、班別セッションを複数回にしても学生さんに多角的な視点が得られたりしてよいのではないかと思います。また、学生に限らず若手と意見交換の場としても活用できるようにしてもよいかもしれません。(社会人 11～20 年目)
- ◇ 次回はぜひハイブリッド型での開催を希望します。セミナー後の懇親会もセットでお願いしたいです。(社会人 11～20 年目)
- ◇ 対面形式も復活してはどうでしょうか。(社会人 21 年目以上)

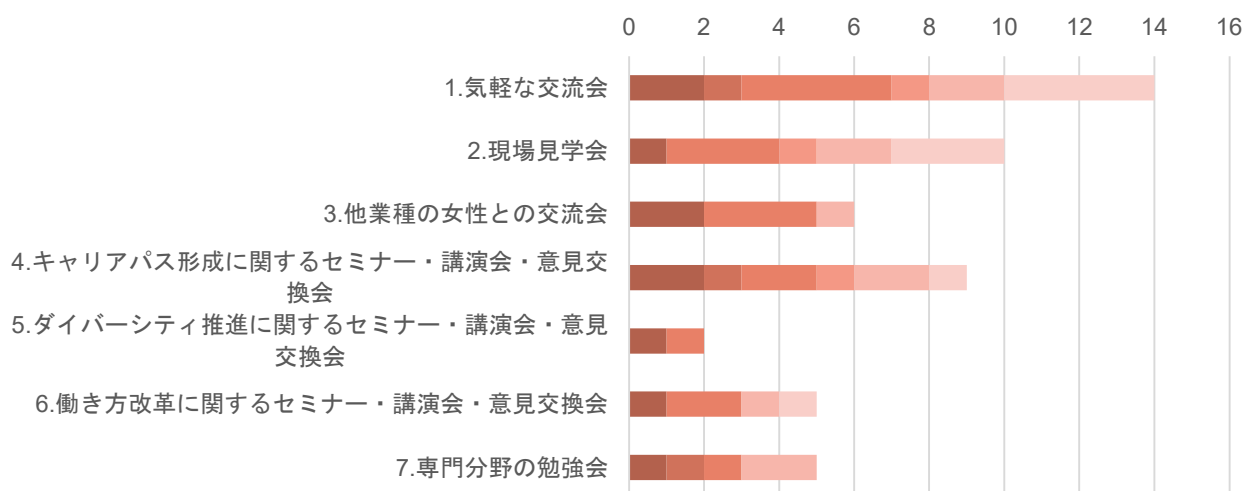
■グループディスカッションではシャッフルしてより多くの方と話したいという意見をいただきました。また学生の方に参加してもらうために、今までの傾向から開催日時の曜日・時間帯や広報先の検討ができるのではというご意見もいただきました。

Q 今回は Zoom での開催としたことについて、感想、改善点、ご提案などがあれば教えてください。

- ◇ どこからでも参加できるという点で参加しやすいと感じました。(大学院生)
- ◇ zoom だったので、移動時間などを気にせず気軽に申し込めて良かったです。入会したばかりで対面だと緊張してしまうので今回参加させていただいて良かったです。これを機に対面のイベントにも申し込ませていただこうと思います。(社会人 1～5 年目)
- ◇ 進行もスムーズで、楽しく参加できました。(社会人 6～10 年目)
- ◇ コロナ情勢も変わってきましたので、ハイブリッド開催等も検討してほしいです。子供の関係なども考えると、Zoom 等の Web 参加については削らないでほしいです。(社会人 11～20 年目)
- ◇ 講話中のチャットでの質問等をもっと促しても良いかなと思いました。(社会人 11～20 年目)
- ◇ Zoom と集合のハイブリッド開催でもいいのかも、と思った。Zoom での開催は残したい。(社会人 21 年目以上)

■リモートだと、育児中や遠方の方が参加しやすい反面、そろそろ対面形式でという声もあがっています。ご意見にもありますが、今後はハイブリット形式での開催が検討できれば良いかと感じました。

Q 女性技術者が集まる場として、参加してみたい企画があれば教えてください。(複数回答可)



■大学生 ■大学院生 ■社会人(1～5年目) ■社会人(6～10年目) ■社会人(11～20年目) ■社会人(21年目以上)

■気軽に交流出来る場とあわせて、様々な知識を得ることが出来る講演会等も同様に求められているようです。特に学生の方は、今後のキャリアを考える上でも、知識を学べるような場への参加意欲が高いようです。

以上